

# 「平和憲法を守る会」

ニュースNo162 2024. 5. 11発行

かながわ  
平和憲法を守る会  
神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2  
かながわ県民活動サポートセンター内238  
TEL 090-1105-6980  
FAX 042-797-7486  
郵便振替 00250-3-85449  
平和憲法を守る会

## 第28回かながわ平和憲法を守る会総会

第28回「かながわ平和憲法を守る会」総会  
第89回平和憲法を守る 神奈川県民集会  
平和憲法の出番だ! 「台湾有事」と横須賀の原子力空母問題

日時 5月19日(日)14時～13時30分開場

場所 県民センター711

講師 呉東正彦 (原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会共同代表・本会代表委員)

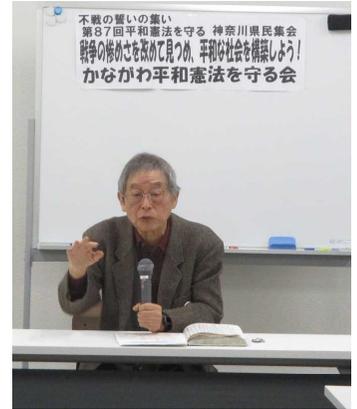
## 2023年度かながわ平和憲法を守る会の活動

5月21日、かながわ県民センターで本会の第27回総会、第86回平和憲法を守る神奈川県民集会を開催した。総会では、事務局長の瀬川から22年度の活動と決算を報告、また、23年度の役員と活動計画を提案し、共に拍手で承認された。総会後には、本会代表委員の呉東正彦弁護士が、「どこにも基地はいらない～米軍基地の増強・強化にどう抗するか!」と題して、記念講演した。呉東さんは、神奈川の基地の現状を横須賀基地を中心に問題を提起した。米空母母港50年、海外で唯一の原子力空母の母港、2024年Gワシントンへ交代。日米合意違反の原子炉の修理、放射性廃棄物搬出、試験航海中の原子炉テスト訓練が行われていることや排水処理施設周辺のPFPSの深刻な汚染問題、イージス艦乗組員による逗子海岸連続通り魔事件、横浜港内ノースドックへの陸軍小型揚陸艇部隊の配備、相模補給廠のミサイル司令部 米国のミサイル防衛のための部隊、厚木基地へのオスプレイの飛来と、海上自衛隊のP1等の利用強化、キャンプ座間の陸軍第一軍団前方司令部も特定秘密保護法など基地の増強強化の具体的な問題を指摘した。米軍基地強化に、



どう抵抗するために、戦争、被災の危険が現実化しつつあることを市民にしっかりと伝えること、様々な市民団体による重層的な運動として女性や若者の参加する運動を作ること、わが町を愛するアンデんティティとつなげること、自治体と議会に働きかけ、住民と自治体が一体となった運動を作ること、思いやり予算を削減させ、物価高の中での軍事費増税を許さない運動が必要だとまとめた。

12月24日、沖縄大学名誉教授の加藤彰彦(野本三吉)さんを講師に第87回平和憲法を守る県民集会を県民センターで開催した。加藤さんは、「非戦」という暮らしへの道と題して、現代をどう生きたらよいのかを熱く語った。まず、戦争が戦争を止めた例は一つもない。戦争は戦争を生むが、軍備は平和を保障しない。戦争を保障すると内村鑑三の非戦論を紹介した。そして、加藤さんは、自らが子どもの時に体験した東京大空襲の経験を語り、今でもその時の妹の死と母の嘆きは忘れられないと強く語った。そして、戦後の軍備拡大への動きを説明し、アメリカは日本を守らないと指摘した。また、横浜寿地区での日雇い労働者との出会いから、食・住・仕事などの生きるための条件の必要性を紹介、仲間と共に生きること、学び支えつくることを実践し、行政・組合・住民の共生となる寿住民懇談会設置の取り組みなどを語った。



その後、沖縄で東アジアや中国との交流をしてきた琉球王国の暮らしや琉球処分、戦争で捨て石となり、アメリカの支配下となった歴史と命どう宝というゆいまーるの精神について学んだことを語り、非戦の必要性を訴えた。加藤さんは、われわれは、全世界の国民がひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和の裡に生存する権利を有することを確認するという憲法前文の理念を活かす時だとし、アメリカへの追随をやめ、食料、住居、仲間、そして職の保障が必要だと訴えた。そして、孤立しない関係・社会づくり、食・住・仲間・職など生きていく基本の保障を非戦・共生の憲法の理念を基本にすべきと訴え、自らが取り組んでいる地域から暮らしを変える活動の実践を提起した。集会は、会からの集会アピールを採択し、非戦を改めて確認し、憲法の理念を実践していくことを確認するものとなった。

2月11日、「紀元節」復活＝「建国記念の日」に反対し、今、改めて「皇民」化教育を問う第88回平和憲法を守る神奈川県民集会を県民センターで開催した。「関東大震災朝鮮人虐殺の史実から今を問う ヘイトに向き合う」と題して、元横浜市中学校教諭で研究家の後藤周さんを講師に行った。

後藤さんは、中学校教員の時から関東大震災時における朝鮮人虐殺について調査・研究、教材化してきた。昨年9月には、研究のまとめとして、



「それは丘の上から始まった」を出版した。

講師の後藤さんは、豊富な調査資料を使って、関東大震災時に何がおきたのかをていねいに説明した。流言について、①虐殺事件のきっかけは流言であった。②朝鮮人が暴動、井戸に投毒、放火、爆弾という流言は、すべて事実ではなかった。③官憲（軍隊、警察）も当初は流言を信じて行動し、流言を拡大させた。とし、虐殺の実相：加害者、被害者は、①虐殺という表現が妥当する殺傷事件が多発していた。②加害者は軍、警察、市民。例外的とは言えない規模で、武力、暴力を行使した。③犠牲者は朝鮮人が最も多く、中国人、内地人も少なからず被害にあった。④犠牲者の正確な数は把握できないが、千人～数千人と推定できる。⑤政府は流言は虚報と認識し、朝鮮人保護と自警団取締の方針を出す、なお虐殺は続いた。⑥虐殺の実行者に対する検挙は限られ、有罪者も刑は軽く、後に恩赦となったと指摘した。後藤さんは、伝えなければ忘れられる、忘れれば繰り返すとし、100年たっても変わらない今の状況に危険であるとした。ヘイトスピーチをはじめ、排外主義を国会議員が率先する今の社会の問題点を確認し合うものとなった。

9月23日、かながわ平和憲法を守る会は、「横浜港を前線基地・出撃基地化させるな！横浜ノースドックを視る」として第27回反戦ツアーを開催した。講師は、リムピース編集部の星野潔さん。最初に、横浜ノースドックの現状と揚陸艦部隊の配備について、講師の星野さんから横浜ノースドックの歴史を敗戦後に米軍に接収されてから戦車闘争なども含め具体的な写真などを豊富なデータを使って説明、米陸軍の輸送の拠点、米海兵隊の輸送・行動の中継地点、陸上自衛隊も出撃拠点にしており、横浜ノースドックが「有事」に部隊を展開する際のRSOI(受け入れ、駐留作戦準備、前方展開、戦力統合)の拠点となっていると、横浜ノースドックの機能や使われ方について説明した。また、本牧埠頭D突堤は米軍のコンテナ船の拠点、鈴繁埠頭に大型輸送艦が接岸し、軍事演習の資材の積み卸しをしているなど、横浜ノースドック以外の横浜港も軍事使用されていることを指摘した。また、1月に揚陸艇部隊の配備を発表されたが、すでに横浜ノースドックには多数の揚陸艇が備蓄されており、横浜ノースドックは、相模総合補給廠及び勸告大邸のキャンプキャロルと一体となってアメリカのAPS(陸軍事前配備貯蔵)5カ所の1つであるとした。揚陸艇搬入時に外務省は横浜市に、運行のための部隊の配備はなく、運用されないとの約束をしていたにもかかわらず、その約束は守られていなかった。ノースドックは、台湾有事等に対し、戦争の実質的拠点となり、相手国からの攻撃対象となり得ることなどの問題を明らかにした。



その後、ランドマークの69階展望台から横浜ノースドックの全容について確認し、さらに大栈橋からも横浜ノースドックの説明を受けながら、見学した。大都市横浜の中心部に戦争の拠点が作られようとしているが、市民のほとんどがその現状を知らないまま進行している。赤レンガ倉庫で大きなイベントが行われていたが、その



喧噪の中で進む静かな戦争への準備は恐怖を感じるものであった。市民にこの問題点を知らせていく必要性を確認して、反戦ツアーを締めくくった、現在、横浜市に対しての反対署名運動を展開している。

平和憲法を守る会ニュースを156号～161号まで2カ月に1回発行、毎月1回の幹事会を開催した。



# 武力で平和はつukれない！ といもどそう憲法いかす政治を 2024憲法大集会

憲法記念日の5月3日、横浜・臨港パークでの開催から数えて10回目の節目となった2024有明憲法大集会、有明防災公園に昨年を超える3万2000人が集まった。



オープニングに島唄を披露した古謝美佐子さんは「会場を埋め尽くす色とりどりの旗がとてもきれい」と盛り上がりを表現した。

主催者の小田川義和さんは、「岸田政権は、いわゆる安保3文書で、防衛費を5年間で43兆円とすることや、殺傷能力のある武器の輸出を打ち出した。そればかりでなく、今回の日米首脳会談で自衛隊を米軍の指揮下に置くことに同意した。先ごろの衆院議員補欠選挙では、自民党全敗という結果になったが、これは、自民党政治への国民の怒りの表れと言える。自民党に代わる政府を野党共闘で実現しよう」と挨拶した。

スピーチで伊藤真弁護士は「党派を超え、意見の違いを超え、憲法を守るという一点でこれだけの人が集まった。なんと素晴らしいことでしょう」「世の中には変えてはいけないことと、変えていいことがある。変えてはいけないことは、憲法への愛だ。自民党は、憲法9条に自衛隊を明記しようといっているが、いまだに変えられない。反対する人がいるからだ。それに、改憲には800億円もかかる。こんなこと、国民は許さないでしょう。むしろ、憲法を活かす政治を取りもどさねば」「先の日米首脳会談で、自衛隊が米軍と一緒に戦うことが可能になった。今こそ、憲法に保障されている言論・集会の自由や選挙権を活用してそうならないように努めようではないか」「政府に戦争させないとした憲法に私たちは守られてきた。今度は私たちが憲法を守る責任を果たさなければならない」と発言した。

日本共産党の田村智子委員長は、「地政学リスクを固定化した上での力づく外交は多極化する世界では有害であり、ASEANがすすめる対話による平和枠組み構築の運動に習い、日本は9条精神を土台とする平和への戦略、平和ビジョンの打ち出しこそ求められる方向、それには市民と野党の共闘こそ正念場とする」と訴え、立憲民主党の逢坂誠二代表代行・憲法調査会長は、自民党の裏金問題に触れ、「憲法は国会

議員、公務員、裁判官を縛るものだ。憲法に縛られる側の人間が法律を犯しているかもしれないのに、声高に憲法改正を叫ぶのは異常な姿だ」と批判した。れいわ新選組の榎渕万里共同代表は「グローバル・パートナーは日本がアメリカ軍の2軍になる事だが憲法上できない」と、社民党の福島瑞穂党首は「いま、憲法の危機です。平和の危機です。人権の危機です。だから、この危機をみんなで一緒に乗り越えていこうではありませんか」と訴え、「沖縄の風」がメッセージを寄せた。



集会は、リレートークなども行われ、行動提起のあと、エンディングは「HEIWAの鐘」合唱に送られ、デモ行進を行った。 杉山隆次(事務局次長)



## 各地の市民運動から(紹介)

### 【3.20さよなら原発全国集会】

20日の集会は、松元ヒロさんオープニングライブでスタート、軽妙に政府批判や原発批判、汚染水放出問題では、おしどりマコさんの話から、突っ込んだ批判が面白い。トークライブは呼びかけ人の澤地久枝さん、鎌田慧さん、落合恵子さん、福島からは片岡輝美さん、各地からは志賀原発の北野進さん、東海第二原発の阿部功志さん、女川原発の多々良哲さん、環境団体からなどと盛りだくさん。



澤地さんは、雨の中、多く人が集まり感動しています。岸田内閣の支持率落ちてても憲法を変える発言を繰り返す。酷いです。皆さんが一つになって原発をなくす。私も93歳ですが皆さんと努力を続け頑張ります。と語った。

能登半島地震被災地の石川県珠洲市で、かつて「珠洲原発」の建設を止めた住民運動に関わった元市議の北野進さんは、「原発ができていたら奥能登が被ばくしていたかもしれない」と危険性を訴えた。



集会当日は、天気の急変が予報される中、約6000人の来場があり、集会の後は、渋谷コース・原宿コースに分かれ、デモ行進、祝日ということもあり、歩道から多くの若者や家族連れが見守る中、参加者はのぼりやプラカードを手に、「原発再稼働を許さない！」「フクシマを忘れない！」「汚染水を流すな！」などのシュプレヒコールをあげて、原発反対を訴えた。

《杉山》

## 【 2024年かながわメーデー開催】

5月1日、横浜市の反町公園で5.1メーデーが開催された。実行委員会を代表して、かながわ交流の佐藤治さんが挨拶、続いてかながわユニオン協議会の 大須賀啓子さん、神奈川県労働組合共闘会議の小内秀高さんが挨拶、大企業がため込んだ516兆円もの内部留保は労働者の働きでできたもの、労働者に還元させ、雇用と生活を守ろうと訴えた。続いて来賓として、神奈川労働センターの遠山康介さん、相鉄労働組合の太田和利さん、国鉄労働組合の本間誠さんからそれぞれ力強い連帯の挨拶があった。



闘いの報告では、よこはまシティユニオンの日和田典之さん、ユニオンヨコスカの高橋祥夫さん、JAL被解雇者労働組合の白井佳代子さんらがベトナム実習生問題や不当解雇との闘いの報告などがあった。神奈川シティユニオンからは、報告とともに、ポルトガル語のインターナショナルなどの歌が披露された。

市民団体からは、社民党の佐々木克己さん、リムピース編集長の星野潔さん、福島原発かながわ訴訟原告団長の村田弘さんが挨拶、ノースドックへの揚陸艦部隊の配備・機能強化問題の提起、6.17最高裁包囲共同行動への結集を訴えた。

集会終了後は横浜駅近くの沢渡公園まで、雨の中をデモ行進「メーデーを闘おう！組合に集まって闘おう！」と雨の中元気に行進し、沿道に訴えた。《S》

## 【「あつぎ市民発電所」設立と「あつぎ気候市民会議参画」経緯】

遠藤睦子（現在は一般社団法人あつぎ市民発電所理事長）による設立への取組活動。2018年2月農地（約500㎡）提供の話、ソーラーパネル等が設置可能かどうか3月厚木市役所環境政策課（業務に再生可能エネルギーの推進、地球温暖化防止など）と相談。4月小田原の「かなごてファーム」見学会後に「あつぎ市民発電所準備会」の呼びかけに取組む。5月準備会スタートと共にNPO法人市民電力連絡会や環境政策課のサポートを受けながら準備会を進める。7月30日に「一般社団法人あつぎ市民発電所」設立（発起人は理事長以下8名）。9月1日あつぎ市民発電所オープニングの集いを開催し市民電力連絡会（法人）理事長竹村英明さんと千葉エコエネルギーKK富岡宏典さん講演の後、設立趣旨・事業内容・基金募集・会員（正会員・サポーター会員）募集について説明。10月18日「あつぎで太陽光発電を広めよう！」吉原毅さん（原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟会長）講演会開催と今後の取組日程説明、2019年3月設置完了を目標に東電、経産省、農業委員会書類申請手続きを進める。

\* 11月10日市民発電所説明会開催

\* 2019年2月3日市民発電所進捗状況報告会（3月設置の延期）開催

\* 8月31日市民発電所総会開催

\* 10月26日農園収穫祭

\* 2020年1月11日あつぎ市民発電所第1号機通電式と厚木文化会館で講演会

2023年3月に厚木市は2050年にカーボンニュートラルを目指すことを表明し、達成までの道筋を示す「厚木市カーボンニュートラルマップ」(2050年までのCO<sub>2</sub>削減目標、再生可能エネルギーの導入目標、省エネ目)を策定。近年の地球規模での温暖化が進む状況の中で、この厚木市において温暖化防止のための脱炭素で豊かな暮らしやすい環境であり続けられる社会の仕組みを作ろうとの思いから厚木市の「市民共同事業提案制度」を利用、4月に無作為に選ばれた3000人の厚木市民に気候市民会議への参加を呼びかけ、52名(男女比、年齢構成、住居地等の調整後)での「あつぎ気候市民会議」(ミニ・パブリックス:熟議民主主義を实践する仕組みの一つ)を立上げ、6月から11月で6回開催。

\*2024年2月17日あつぎ気候市民会議報告集会(会場:アミュー)

市民討議を積み重ねてきた提言「脱炭素市民アクションプランinあつぎ」発表

《堤》

### 【2024憲法を考える5.3神奈川県民集会】

憲法記念日を前にして「憲法を考える神奈川県民集会」が今年も5月2日にかながわ憲法フォーラム主催で開催され、かながわ県民センターに200名が集まり、改憲問題対策法律家6団体連絡会事務局長の大江京子弁護士が、「軍事大国化のための改憲－憲法審査会のいま－」と題して講演した。



大江さんは、2023年通常国会の衆議院憲法審査会は、任期延長改憲をめぐる攻防が焦点であったとし、憲法尊重維持義務を負う首相が、改憲を目指す発言すること自体、明白な憲法違反と指摘した。2023年臨時国会で自民が改憲条文起草機関の設置を提案、2024年通常国会での衆議院憲法審査会の動向が今後の改憲動向を決めると言っても過言ではないとし、先ず改憲条文起草機関の設立に、野党(とりわけ立憲民主党)かどこまで抵抗し阻止できるかにかかると指摘した。

国会機能の維持について「選挙ができないと、国会議員がいなくなり国会が開けない」との主張は欺瞞に満ちた主張で、国会議員がいなくなることはない。衆議院憲法審査会では、議員任期延長改憲発議まで、やろうと思えばあと一歩のところまでつめて来ている。しかも、改憲手続法の欠陥もそのままの状態。しかし、マスコミは、動きをほとんど報じていない。国民には知られていないのが実態だ。現在、問題となっている裏金問題の捜査は政権との間で幕引き決着が図られた様子、私たちは、このような腐敗議員を選挙によって落とす以外にない。それが民主政治の正しい姿と指摘した。



講演後、高校生平和大使のスピーチを受け、高校生1万人署名運動の長年にわたる核兵器廃絶の継続した取り組みに、会場からの大きな拍手がおくられ、県内での反基地平和のたたかひの決意を確認し合い、終了した。《M》

# 告知板

## @トマホーク Q & A パネル展

日時 5 / 17 (金) ~ 26 (日) 10時 ~ 22時  
会場 横須賀市立市民活動サポートセンター (京急汐入駅)  
主催 非核市民宣言活動ヨコスカ/ヨコスカ平和船団 046-825-5107

## @経済安保版秘密保護法は日本社会をどのように変えるか

日時 5 / 18 (土) 14時 ~ 16時 参加費 500円  
会場 川崎市労連会館 5階講堂 (川崎駅)、 オンライン申込み⇒  
講師 海渡雄一 弁護士 (秘密保護法対策弁護団共同代表)  
主催 ノースドック米軍配備反対ネットワークかわさき



## @日米地位協定を考えるパネル展

日時 5 / 18 (土) 11時 ~ 21時、 19 (日) 10時 ~ 20時  
会場 大和市文化創造拠点シリウス 1階ギャラリー (大和駅)  
主催 パネル展実行委員会 046-263-1294 森

## @基地撤去をめざす県央共闘会議第25回定期総会記念講演

日時 5 / 25 (土) 総会 15 : 00 ~  
会場 大和市生涯学習センター610会議室 ON LINE配信あり 無料  
講師 斉藤光政 (東奥日報編集委員)  
「日米軍事戦略の問題点 - アフリカを照射して見えてくるもの」  
主催 基地撤去をめざす県央共闘 macoyan@jcom.home.ne.jp

## @春の学習会 一刻も早く和平を 武力で平和は守れない

日時 6 / 1 (土) 13 : 00 ~ 資料代 500円  
会場 かながわ県民センター301 (横浜駅)  
講師 ダニー・ネフセタイ (元イスラエル兵)  
主催 平和を守り、行動する神奈川女性の会 kushu-kai@protonmail.com

## @教科書を考える市民の集い どうなる？中学校教科書 社会科・道徳

日時 6 / 8 (土) 14 : 00 ~ 資料代 500円  
会場 かながわ県民センター301 (横浜駅)  
講師 樋浦敬子 (藤沢の教科書・採択問題にとりくむ会)  
報告 神谷幸男 「新しい中学校教科書の記述」  
主催 横浜教科書採択連絡会 090-9203-8446

## @原発事故は国の責任 司法の劣化を許さない 6・17最高裁共同行動

日時 6 / 17 (月) 12時 ~ 13時 ヒューマンチェン行動 10時半 最高裁要請行動  
会場 最高裁判所正門  
報告集会・シンポジウム 14時半 衆議院第1議員会館講堂  
プレ企画 市民シンポジウム 6/16 (13時 ~) 明治大学リハビリタティブタワーホール  
問題提起 金平茂紀 「巨大地震と原発 ~ 司法のあり方を問い直す」  
主催 6・17最高裁共同行動実行委員会 03-3352-3663

メールアドレスをご登録いただくと最新の集会の案内等を送ります。

このニュースも見ることができます。

「平和憲法を守る会ニュース」への投稿をお待ちしています。

かながわ平和憲法を守る会 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2-238

TEL 090-1105-6980 FAX 045-662-6363 e-mail e-kaihou@nifty.com